



いぶき 第84号
 発行者 吉野 公博
 編集 患者サービス向上委員会
 香川県丸亀市城東町3丁目3番1号
 TEL (0877)23-3111
 FAX (0877)24-1147
 季刊誌 年4回発行
<https://www.kagawah.johas.go.jp>

専門分野について

第三放射線診断科部長 内ノ村 聡



当院は日本インターベンショナルラジオロジー学会（日本IVR学会）の専門医認定修練施設（県内4施設）です。今回紙面をお借りして、IVRという聞き慣れない言葉の説明とその一つである子宮筋腫に対する子宮動脈塞栓術(UAE)をご紹介します。

IVRとはInterventional Radiologyの略で、適当な日本語訳がなく、今でもIVRと呼ばれることが多い言葉です。そのため日本IVR学会では画像下治療と言うイメージしやすい日本語を充てて、その普及を図っています。IVRという言葉は主に、画像装置を用いた体負担の少ない治療および検査方法という意味で用

いられています。

IVRには、中心静脈栄養のカテーテル挿入やポット留置、肝細胞癌のカテーテル治療やラジオ波焼灼術、透析シャント拡張術、閉塞性動脈硬化症の血管拡張術、外傷・術後・腫瘍出血の塞栓術、機能的動静脈血サンプリング、膿瘍ドレナージ術、術前マーキング、生検

実際の手技は、透視・DSA・CT・US・(MRI)下で

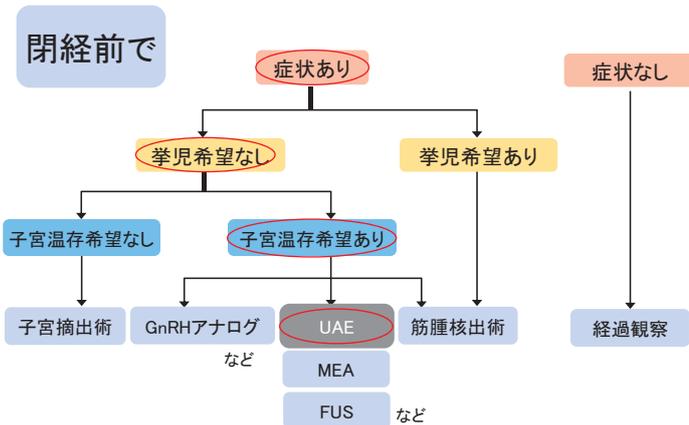
- さす** : 手技の基本
- ひろげる** : 拡張術(血管、胆管、腸管、気管支)
- つめる** : 塞栓術(腫瘍、動脈性出血、静脈瘤)
- いれる** : 動注(抗癌剤、血管収縮・拡張剤)、椎体形成術
- とる** : 生検、静脈血サンプリング(副腎静脈、SACIテスト)
- とかす** : 血栓溶解術
- おく** : フィルター、ステント
- だす** : フィルター抜去、異物除去
- ぬく** : 膿瘍・胆道系ドレナージ、機械的血栓吸引
- やく** : RFA、PEIT、凍結

など様々なものがあります。これらの治療(検査)をエックス線透視や超音波およびCTや血管撮影(DSA)装置などを利用して行っています。

IVRの一つである塞栓術とは、詰めることを難しく言い換えた言葉です。動脈塞栓術は言い換えると動脈を詰めるという事です。これは主に血管撮影装置(DSA)で行います。

子宮筋腫は筋層から生じる良性腫瘍で、30歳以上の

子宮筋腫の治療方針



UAE: 子宮動脈塞栓術、MEA: マイクロ波子宮内膜アブレーション、FUS: 集束超音波治療

女性の20〜30%に生じるとされており、女性ホルモンの増加と共に増大し、閉経後は縮小します。発生する部位により色々な症状にな

香川労災病院の理念

働く人々や地域の人々に
安全で安心のよりよい
医療と看護を提供します

りますが、主に過多月経などの月経困難症や貧血、大きな筋腫による頻尿や腰痛などがあります。

内科的な投薬治療や外科的な子宮摘出術や筋腫核出術など様々な治療方法がある中で、子宮動脈塞栓術(UAE)の適応は、閉経前で子宮筋腫による症状があり、今後出産の希望がなく、子宮温存を希望する患者さんです。

UAEは、右足の付け根(大腿動脈)から細いカテーテルを使って、左右2本ある子宮動脈より0.5〜0.9mm程の小さなビーズ(マイクロスフェア)を少しずつ流していきます。子宮動脈が詰まると、筋腫への酸素や栄養が止まることになり、結果的に筋腫が小さくなります。手術時間2時間程度、前日入院4泊5日程度が大体の目安となります。

UAE(子宮動脈塞栓術)は保険適応のあるIVRであり、体に負担が少なく有効な治療法の一つです。興味がある方はかかりつけの婦人科の先生にご相談ください。

胃がんに対するロボット支援手術の導入

第三外科部長 小林 正彦

今回、前立腺がん、直腸がんに続き、2021年7月より胃がんに対して、ロボット(ダ・ヴィンチ)支援手術を導入しました。2005年より当院では主に早期胃がんに対し、腹腔鏡による手術を開始し、患者さんにより低侵襲で、痛みが少ない手術に取り組んできました。今回その進化版といえるロボット支援手術を導入しました。

手術で難易度が高いとされてきた内臓脂肪の多い患者さんに対して、安全かつ低侵襲な手術が可能になると考えております。スタッフ一同、よりよい手術にできるように日々研鑽を重ねております。もし、ご質問のある方、気軽に相談してください。



手術風景

【美容師さんと交流会】

美容師さんはマルタス会場から参加します。

4月13日(水)	13:30~14:30	教えて!美容師さん ~治療中の外見への対処法~
5月11日(水)		
6月8日(水)		

【相談員とおしゃべり会】

4月27日(水)	13:30~14:30	みんなでおしゃべり ~労災病院とZoomでつながろう~
5月25日(水)		リンパ浮腫 ~みんなでドレナージ体操~
6月22日(水)		気楽に知ろう!“がん”のこと

マルタスでおしゃべりしませんか?

がんサロン リニューアル

がん相談支援センター 岩田 尚子

丸亀市役所隣のマルタス(丸亀市市民活動交流センター)で、毎月2回開催します。マルタス会場と院内会場をZOOMでつないで交流します。

参加方法は、①マルタス会場に会場、②ZOOM(オンライン)

ライン)で自宅から入室、③当日入院中の方は院内会場の3つです。詳しくは、当院1階がん相談支援センターにお問合せください。どなたでもご参加いただけますので、ぜひお越しください。

連載 2

丸亀城と城下町 丸亀城が再建されたところ

寛永一十七年(一六四〇)五月、生駒藩四代目の藩主高俊のとき、家臣団が分裂し、その一方が家中を立ち退く騒ぎとなりました。いわゆる生駒騒動です。幕府はこの騒動の処分として七月には高俊の領地を没収し、出羽国矢島(現在の秋田県由利本荘市矢島町)一万石に移しました。翌一八年九月、幕府は肥後天草の領主山崎家治に豊田郡・三野郡・多度郡・那珂郡一九か村・鶴足郡一か村の計五万石を与え、城地は見立てて決定するよう命じました。翌一九年二月には、松平頼重が常陸下館から高松十二万石へ移封を命じられます。讃岐国は東西に分割されて統治されることになったのです。讃岐へ入った家治は、同年七月、丸亀の古城を修復して

居城とすることを幕府に願って許されました。翌年には、丸亀城築城のため幕府より銀三百貫(金六千両)を与えられています。

山崎氏が丸亀城を再建したのちの正保元年(一六四四)に、幕府は、諸国の大名と代官へ、国絵図と石高の明細を記した郷帳、それに居城の絵図を提出するよう命じました。讃岐国では、高松藩主の松平頼重が責任者となり、山崎氏が製作したものと合わせて幕府へ提出しました。このときの国絵図はのちに正保国絵図と呼ばれますが、原本は残っていない

く、写本や大名の控え図が現存しています。讃岐国については、江戸時代の写本「讃岐国図」が国立公文書館に保存されています。あまりがたいことに同時に山崎家治から提出された丸亀城の絵図も同館にあります。なお、これとほぼ同じ内容の絵図を丸亀市立資料館の

図3



図3

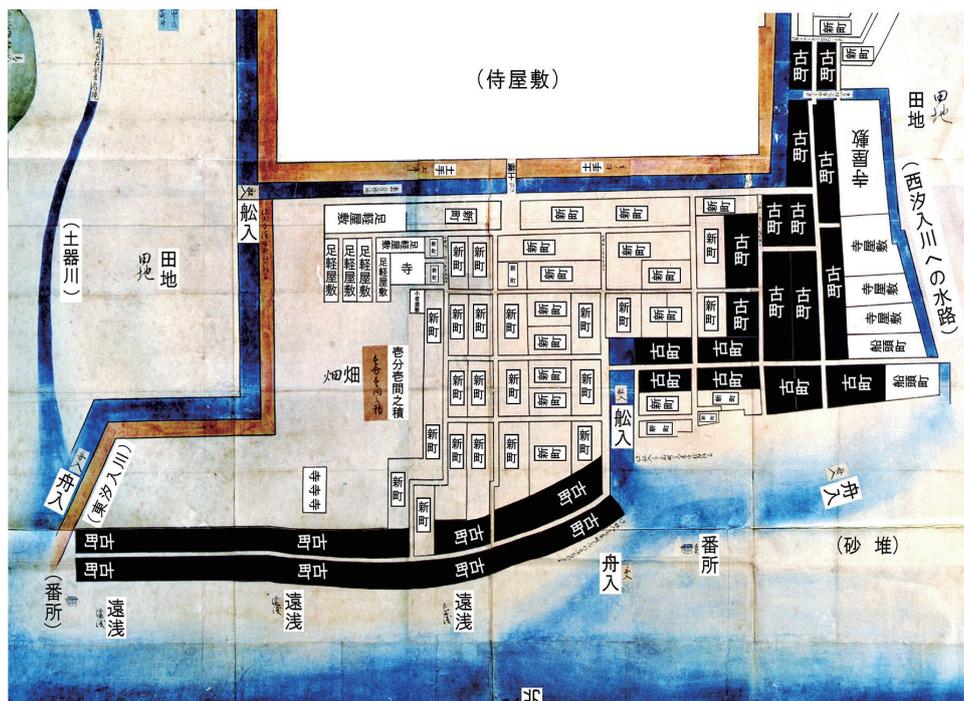


図4

常設展示室で見ることができ、ます。こちらは山崎氏の跡を継いだ京極家に伝来したものです。



香川大学名誉教授 田中健二

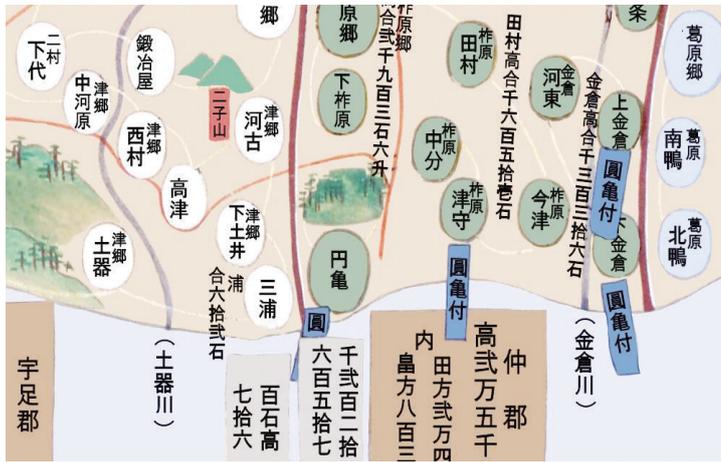
田中健二氏プロフィール



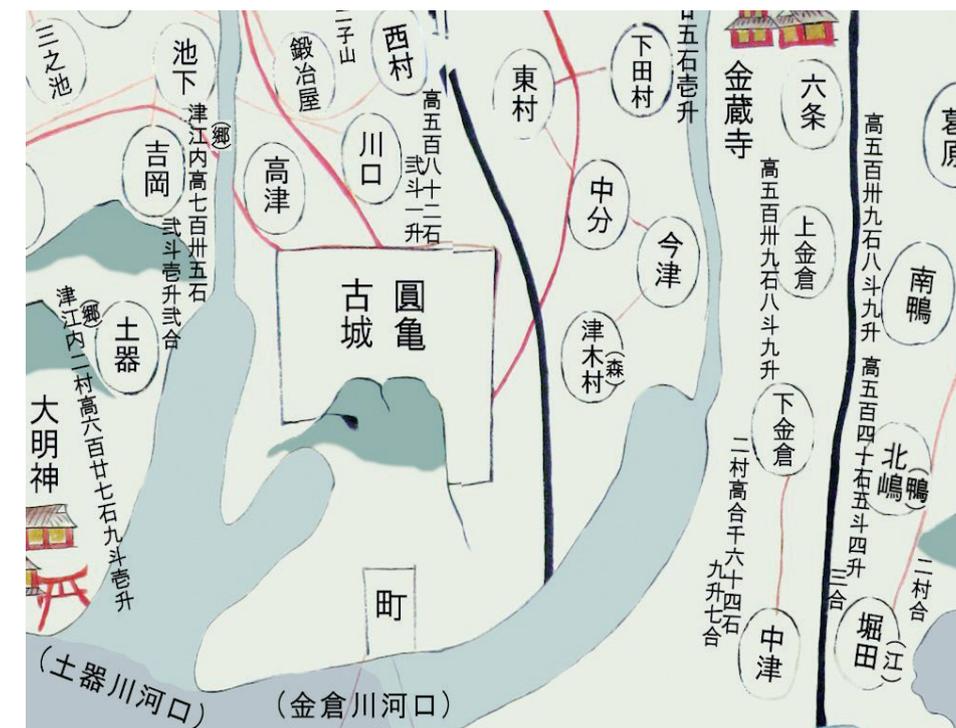
田中健二さんは、香川大学名誉教授で、専門は日本中近世史です。多年にわたって香川県文化財保護審議会の委員を務められ、教育文化功労者として令和元年に県知事表彰をうけていらつしやいます。

【図3】は、国立公文書館所蔵の「讃岐国図」から丸亀付近の写図を作成したもので、【図4】は、同館所蔵の「讃岐丸亀城絵図」のうち、海側を示したものです。この絵図は丸亀城外堀外の城下町を詳しく描いた最初のもので、

【図1】と、前号に掲げた【図1】・【図2】をくらべますと、金倉川は【図1】と同じく今津村と下金倉村の間をまっすぐに流れて瀬戸内海に入っています。また、【図2】に描かれている丸亀古城の海側に見える二か所の岬状の土地も描か



前号資料 図1



前号資料 図2

れています。なお、前回の記事で【図2】について「寛永五年に江戸幕府へ提出された国絵図の写本」と書いていますが、これは「寛永一〇年」の誤りです。【図1】については同年の製作で間違いありません。

【図4】から知られる初期の丸亀城下町の概観を述べます。城下町は、外堀で城内と区画されています。この東西に延びる外堀は、現在の県道高松善通寺線に当

たります。東(図の左側)は土器川河口へ続く東汐入川の西側(現在の風袋町付近)、西(図の右側)は西汐入川へ入る水路の東側(現在の南条町付近)で限られます。海側(図の下側)は「舟入」(港)や遠浅の海岸に沿っています。城下町には、外堀に近

部署紹介「東4病棟」

東4病棟師長 宮本 紀子

東4病棟は内科(主に肝臓疾患)・耳鼻咽喉科・整形外科の混合病棟です。急性期病院であり緊急の入院やがん治療、手術療法を受ける方など様々な対応を行っています。その様な中、経過が早くめまぐるしい状況はありますが、「患者さん、ご家族が安心して治療に臨み生活に戻れるよう、寄り添った看護」の提供を大切にしています。

「食べている方」「食生活に問題を抱える方」「治療後の生活に不安を感じる方」がいらつしゃいます。当病棟には痛みや食べる事が困難になった方などへ、スペシャリストでもあるがん性疼痛看護認定看護師や摂食嚥下障害看護認定看護師、入退院支援看護師が関わっているのです、ご相談下さい。

耳鼻咽喉科や整形外科の手術や肝臓疾患の治療・検査においては、手術や検査の前後を通じて安心して過ごして頂けるように、看護師一人一人が明るく笑顔で対応し、丁寧な説明と患者さんやご家族の声を聴くことを心がけています。入院される方の中には、「痛みや病気のつらさを感



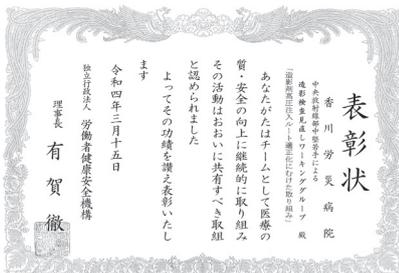
中央放射線部が表彰を受けました

当院の中央放射線部はこの度、労働者健康安全機構本部主催による「Quality & Safety Team Awards 2021 (医療の質・安全チーム大賞)」として表彰を受けることとなりました。

「Quality & Safety Team Awards 2021」とは、各労働病院が実施している医療の質、安全向上の取組(グット・プラクティス事例)の中から、優れた取組を選考し、その取組について労災病院全体で情報を共有することにより、

各労働病院が医療の質、安全向上に取り組むことを促進することを目的としております。

当院の理念である、「働く人々や地域の人々に安全で安心のよりよい医療と看護を提供します」とあるように、今回の受賞に慢心することなく、中央放射線部をはじめ職員一同、さらなる安全で安心のよりよい医療と看護の提供に努めていく所存ですので、よろしく願います。



新任医師紹介



第三整形外科部長 近藤 秀則

4月から整形外科でお世話になります近藤秀則と申します。前任の岡山済生会では上肢を中心に診療させていただいておりました。香川での勤務は初めてとなりますが、早く地域になじみ、丁寧な診察とわかりやすい説明を心がけ、中西讃地区の地域医療のお役に立てるよう努力してまいります。学生時代から野球、最近は子どもと一緒にサッカーと体を動かすことが大好きです。機会がありましたらぜひお声かけください。よろしく願います。





第五外科部長
戸嶋 俊明

この度外科・消化器外科に赴任してまいりました戸嶋俊明と申します。前任地の高知医療センターでは下部消化管(大腸)の外科診療に従事しており、当院でも下部消化管外科医として勤務させていただきました。大腸癌の外科治療においては低侵襲な手術(腹腔鏡やロボット支援手術)を積極的にを行い、根治性(治しきること)と機能温存(排便、排尿、性功能などのバランスの取れた治療を心掛けてまいります。患者様には丁寧な診察と説明を心掛け、よく納得していただいでから治療を受けていただけるよう尽力致します。丸亀市に住むのは初めてですが、地域の方のために少しでもお力になればたらしめておきます。大腸疾患のことでお悩みのことがありましたらいつでもご相談いただけましたらと思います。



眼科部長
土居 真一郎

今年で医師14年目になる眼科医です。

生まれは多度津、育ちは丸亀(と高松)の讃岐っ子として育ちました。趣味は食べること(うどん、焼き肉、スイーツ)と音楽鑑賞(ピアノ)で、これから丸亀の美味しいお店が見つけれたらいいなと思っています。

医師としてはこれまで岡山大学病院で、主に白内障、網膜硝子体、緑内障の診療・手術を中心に経験を積んでまいりました。みなさまが安心して相談できる診療を心がけてまいります。目でお困りの方は、お気軽に眼科外来へいらしてください。



消化器内科副部長
石田 正也

はじめまして。内科の石



耳鼻咽喉科副部長
内藤 智之

田正也と申します。これまで香川県、岡山県の病院で消化器疾患を中心に診療して参りました。この度、地元丸亀の病院で勤務できることとなり、嬉しく思います。お腹の症状は誰でも経験したことがある身近な病気であり、また、症状がなくても、定期検査し、早期発見が望ましい病気もあります。ご相談いただければと思います。地域の医療に貢献できるよう努めて参ります。どうぞ、よろしくお願いたします。

令和4年4月より赴任しました10年目耳鼻科医の内藤智之と申します。平成30年より4年間香川労災病院で勤務し、1年間香川県立中央病院を経由後、この度再度当院へ赴任することとなりました。慣れ親しんだ環境でまた働けることをう



放射線診断科副部長
遠迫 俊哉

れしく思います。出身は岡山ですが、早いもので香川在住6年目となりました。丸亀はとても住みやすく子育てもしやすい環境にとっても満足し日々過ごしております。趣味として硬式テニスを続けており、されていの方がおられたら是非声をかけて下さい。耳鼻科疾患は鼻の分野を中心に全般を診ておりますので、お困りの際はいつでも相談して下さい。また、以前、診療に携わらせていただいた皆様やこれから治療を受ける皆様に少しでもお役に立てられるようこれからも精進して参りますので、よろしくお願いたします。

令和4年4月1日より放射線科に着任いたします遠迫俊哉と申します。香川大学医学部医学科を卒業後、香川大学病院、四国こども



麻酔科副部長
溝渕 有祐

とおとなの医療センターでの勤務を経て参りました。放射線科は診療科の特性上、直接患者さんと接する機会は少ないですが裏方として力の限り皆様の支えになりたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。

令和3年4月より赴任いたしました、麻酔科の溝渕有祐と申します。高校まで岡山で育ち、宮崎大学を卒業後、岡山・東京の病院で勤務して参りましたが、香川での勤務は初めてですが、祖父母が香川労災病院のすぐ近くに住んでいたこともあり、小さな頃から思い入れのある地で働くことができていることを大変嬉しく思っています。安全できめ細かい麻酔と全身管理を患者さんに提供できるよう、努めてまいります。よろしくお願いたします。



消化器内科医師
中村 賢史

この度香川労災病院に赴任することになりました中村賢史です。消化器内科医として外来、内視鏡検査等を担当させて頂きます。診療に関しては皆様が親しみやすく適切な診療を、内視鏡検査については出来るだけ安心して検査を受けて頂けるよう心がけていきたいと思っておりますのでまだまだ至らない点はあるかと思えますが何卒よろしくお願致します。



呼吸器内科医師
戸部 翔子

4月より赴任して頂きました。内科の戸部翔子と申します。生まれも育ちも香川県観音寺市です。腎臓内科と糖尿病内科を主に担当させて頂きます。趣味は国内旅行とスポーツ観戦(特に野球とサッカー)、映画鑑賞ですが、いずれもコロナのため行くことができておらず、寂しいです。休日は、昨春に子供が産まれてからは子供と遊んだり、公園を散歩したりしています。一生懸命頑張りますので、これからよろしくお願致します。



呼吸器内科医師
西村 晃彦

2022年より赴任して参りました、西村晃彦と申します。

生まれも育ちも関西という根っからの関西人です。香川県には今年で4年目となりました。まだまだ知らない場所/食べ物/方言等あると思いますので、是非教えて頂けますと幸いです。中讃地区の医療の一端を担えるよう、全力で頑張つてまいります。何卒よろしくお願致します。



消化器内科医師
川西 竜輔

本年度より香川労災病院にて勤務させていただきます。川西竜輔です。

期研修医として勤務しております。林聖矢と申します。生まれは新潟県です。冬は早朝の雪かきに奮闘しながら育ちました。大学から香川県在住ですが、冬でも青空が広がっていることに感動しています。中学から大学までバドミントンをしていました。最近では運動不足で休日はついZzzzzzzを聞いてしまいます。こんな私ですが、患者様の立場での最善は何か常に考えられる医師を目指し頑張りますのでよろしくお願致します。



脳神経外科医師
林 聖矢

私は香川県高松市出身で、いったん北海道大学に在籍した後、地元香川県の香川大学医学部に入学し、卒業後は初期研修の後に坂出市立病院・香川大学医学部に勤務してまいりました。4月3日には丸亀城の桜のライトアップを自転車で見ました。歴史ある丸亀市の地域医療に貢献できるように努力してまいります。おすすめのスポットやお店がありましたらぜひ教えて下さい。

2022年3月より、香川労災病院に脳神経外科後



整形外科医師
徳田 貴大

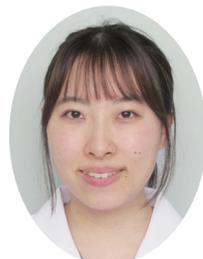
2022年4月より赴任致します整形外科の徳田貴大と申します。私は2018年から2021年9月まで香川労災病院で3年半勤務し、その後2021年10月から2022年3月まで岡山大学病院で勤務して

はじめまして。4月から形成外科でお世話になります。出身地である丸亀で勤務することとなり、懐かしい気持ちでいっぱいです。形成外科としてはじめての年で至らないところも多々あると思えますが、早く一人前の医師になれるよう精進していきたいと思えます。どうぞよろしくお願いたします。



形成外科医師
木村 凜

この度縁があつて再び香川労災病院での勤務となりました。再び香川労災病院で勤務出来ることを嬉しく思います。またそれと同時に身の引き締まる思いもします。患者様一人ひとりに丁寧な診療を努めさせて頂きます。どうかよろしくお願致します。



研修医 鈴木 幸奈

はじめまして。4月より、香川労災病院で初期研修医として勤務させていただくことになりました鈴木幸奈と申します。出身は香川県で、大学も香川大学を卒業しました。学生の頃から、将来は地元の医療に貢献したいと考えていましたので、

こうして、地元の病院に勤務することができるとをとても嬉しく思います。まだまだ至らない点も多くあるとは存じますが、精一杯頑張りますのでよろしくお

願いいたします。



研修医 川口 夏実

はじめまして、初期研修医1年目の川口夏実と申します。この度、初めて香川

県に住むことになり、丸亀城や土器川など歴史ある穏やかな土地で研修できることを楽しみにしていました。

最近の楽しみは散歩で、天気の良い日はよく出かけています。丸亀市をゆっくり歩きながら少しずつこの町を知っていきたいと思います。

まだまだ未熟ですが1日も早く一人前になれるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いたします。



研修医 野田 寛貴

はじめまして、初期研修医1年目の野田寛貴と申します。鳥取出身で、岡山大学を卒業いたしました。

不慣れな点も多く、ご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、何卒よろしくお願いたします。

休日に運動不足の解消も兼ねての散歩をすることが趣味ですが、丸亀城に代表

されるように自然が豊かな丸亀市で働けることを楽しみにしております。

一生懸命頑張ります。よろしくお願申し上げます。

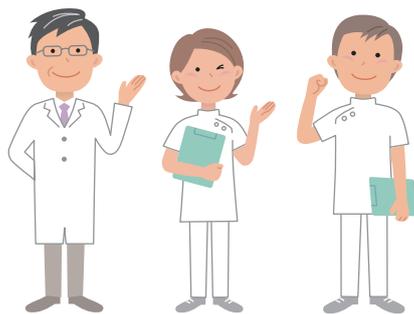


研修医 箸尾 成将

はじめまして。令和4年4月から香川労災病院でお世話になります、箸尾成将と申します。

生まれも育ちも香川県高松市です。福岡県の産業医科大学で大学生活を過ごし、この度故郷の香川県に戻ってまいりました。

社会人、医師の1年目でまだまだ右も左もわからない状態ではありますが、少しでもみなさまのお役に立てるように頑張ります。どうぞよろしくお願いたします。



四季の植物 花水木(ハナミズキ) ミズキ科・ミズキ属

西4病棟看護師・高橋希巳江

アメリカでは、日本の桜の様に最も愛される花の一つです。1915年アメリカから日本に贈られ植栽が始まりました。花言葉は「華やかな恋・私の思いを受けて下さい」など。3月18・23日、4月15・23日の誕生花です。

編集だより

患者サービス向上委員

石川 恵美子

暖かな風と共に春の香りを感じるようになりました。枯草色だった地面からは新緑が溢れ、彩り豊かな花々が咲きほこり、心躍る季節を迎えます。長いコロナ禍生活でこわばった体が少しほぐれるといいですね。季節の変わり目ですので、体調を崩さぬよう睡眠を十分にとり、引き続き感染対策がんばっていきましょう。

広報誌「いぶき」へのご意見、ご感想、多数お待ちしております。ぜひお寄せください。

